

口永良部島に関する火山噴火予知連絡会の活動経過

2014 年(平成 26 年)		
8月3日		3日 12 時 24 分に新岳で噴火。噴石が山頂火口から約1kmの範囲に飛散し、火砕流が新岳山頂火口の南西側から西側にかけてと東側に流下した。
8月3日	噴火警戒レベル 1 → 3	3日 12 時 24 分頃噴火。今後、噴火活動がさらに活発となる可能性。火口から概ね2kmの範囲で大きな噴石に警戒。
8月7日	噴火警戒レベル 3 切替	3日の噴火の火山灰分析の結果、マグマが直接関与していた可能性。今後、マグマが関与した噴火が発生の場合、火砕流の可能性。火口から概ね2kmの範囲で大きな噴石に警戒。向江浜地区から新岳の南西にかけて、火口から海岸までの範囲では火砕流に警戒。
8月8日	拡大幹事会	3日 12 時 24 分頃の噴火はマグマが関与したと考えられる。その後も火山活動が高まった状態。今後も噴火が発生し、火砕流を伴う可能性。
10月23日	第 130 回連絡会	噴煙活動等が継続しており、今後も8月3日と同程度の噴火が発生する可能性。
2015 年(平成 27 年)		
2月24日	第 131 回連絡会	火山活動は活発な状態が継続。火山ガス観測や地殻変動観測では、今後、火山活動がさらに高まる可能性があることを示す変化。火山活動の推移を注意深く見守る必要。
5月29日		29日 09 時 59 分に爆発的噴火。
5月29日	噴火警戒レベル 3 → 5	29日 09 時 59 分に爆発的噴火。火砕流が向江浜付近で海岸に達する。火砕流の到達が予想される屋久島町口永良部島居住地域では厳重な警戒(避難等の対応)。
5月30日	拡大幹事会	29日 09 時 59 分に火砕流を伴う爆発的噴火発生。この噴火はマグマ水蒸気噴火であったと考えられる。今後も同程度の噴火が発生する可能性。 <u>口永良部島総合観測班設置。</u>
6月15日	第 132 回連絡会	火山活動は活発な状態継続。今後も5月 29 日と同程度の噴火が発生する可能性。
6月18日		18日 12 時 17 分頃、16 時 31 分頃噴火。
6月19日		19日 09 時 43 分噴火。
8月21日	拡大幹事会	(第 132 回火山噴火予知連絡会の評価から変更なし)
10月21日	第 133 回連絡会	5月 29 日と同程度の噴火が発生する可能性は低くなっているものの、引き続き噴火の可能性があり火砕流に警戒が必要。新岳火口から概ね2kmの範囲、及び火砕流の流下による影響が及ぶと予想される新岳火口の西側の概ね 2.5km の範囲では、厳重な警戒(避難等の対応)。
10月21日	噴火警戒レベル 5 切替	火山活動が高まる傾向はみられないことから、5月 29 日と同程度の噴火が発生する可能性は低い。火口から概ね2kmの範囲及び火砕流の流下による影響が及ぶと予想される新岳火口の西側の概ね 2.5km範囲で、厳重な警戒(避難等の対応)。
2016 年(平成 28 年)		
2月17日	第 134 回連絡会	引き続き噴火の可能性があり、噴火に伴う大きな噴石及び火砕流に警戒。
6月14日	第 135 回連絡会	2015 年5月 29 日の噴火前から続いていた島の膨張状態が収縮に転じる。 2015 年5月 29 日と同程度の噴火が発生する可能性は更に低下。火口から概ね2kmの範囲で、大きな噴石及び火砕流に警戒。向江浜地区から新岳の南西にかけての火口から海岸までの範囲では、火砕流に警戒。
6月14日	噴火警戒レベル 5 → 3	火山活動は低下。新岳火口から概ね2kmの範囲では、大きな噴石及び火砕流に警戒。向江浜地区から新岳の南西にかけての火口から海岸までの範囲では、火砕流に警戒。
10月4日	第 136 回連絡会	2015 年5月 29 日と同程度の噴火が発生する可能性は低くなっているものの、火山性地震や火山性微動が時々観測されており、火山ガス(二酸化硫黄)の放出量は、2014 年8月3日の噴火前より多い状態で経過していることから、引き続き噴火が発生する可能性。

御嶽山に関する火山噴火予知連絡会の活動経過

2014 年(平成 26 年)		
9月 27 日	御嶽山で噴火。火砕流が南西方向に3km以上流下。噴煙は火口上約 7,000mと推定。	
9月 27 日	噴火警戒レベル1 →3	27 日 11 時 52 分頃、御嶽山で噴火。火口から4km程度の範囲で大きな噴石等に警戒。
9月 28 日	拡大幹事会	27 日 11 時 52 分頃に火砕流を伴う噴火が発生。その後も火山活動が高まった状態。今後も噴火が発生する可能性。
9月 28 日	噴火警戒レベル3 切替	27 日の噴火以降、山頂火口からの噴煙活動が活発な状態。引き続き火口から4km程度の範囲で大きな噴石と火砕流に警戒。
10月 23 日	第 130 回連絡会	火山活動には低下傾向がみられるものの、今後噴気活動や地震活動等が活発化する場合には、火口周辺に大きな噴石を飛散させ、火砕流を伴うような噴火が発生する可能性。 <u>御嶽山総合観測班を設置。</u>
2015 年(平成 27 年)		
1月 19 日	拡大幹事会	火山活動は引き続き低下。現状で2014 年9月 27 日と同程度ないし上回る規模の噴火が発生する可能性は低くなっている。火口列からの噴煙活動や地震活動は続いており、今後も小規模な噴火が発生する可能性。
1月 19 日	噴火警戒レベル3 切替	火山活動は低下。引き続き火口から概ね3kmの範囲で大きな噴石と火砕流に警戒。
2月 24 日	第 131 回連絡会	火山活動は低下してきており、2014 年9月 27 日と同程度ないし上回る規模の噴火が発生する可能性は低くなっている。火口列からの噴煙活動や地震活動が続いており、今後も小規模な噴火が発生する可能性。
3月 31 日	噴火警戒レベル3 切替	火山活動は低下。火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石と火砕流に警戒。地獄谷方向では火口から概ね 2.5kmまで火砕流に警戒。
6月 15 日	第 132 回連絡会	火山活動は低下した状態が継続。噴煙活動や地震活動は続いており、今後も火口周辺に影響を与える小規模な噴火が発生する可能性。
6月 26 日	噴火警戒レベル3 →2	火山活動は低下。火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒。
10月 21 日	第 133 回連絡会	火山活動が低下した状態が続いている。火口列からの噴煙活動や地震活動は続いており、今後も小規模な噴火が発生する可能性。
2016 年(平成 28 年)		
2月 17 日	第 134 回連絡会	火山活動は緩やかな低下傾向が続いている。火口列からの噴煙活動や地震活動が続いていることから、今後も小規模な噴火が発生する可能性。
6月 14 日	第 135 回連絡会	火口列からの噴煙活動や地震活動が続いていることから、今後も小規模な噴火が発生する可能性。
10月 4 日	第 136 回連絡会	火口列からの噴煙活動や地震活動が続いていることから、今後も小規模な噴火が発生する可能性。